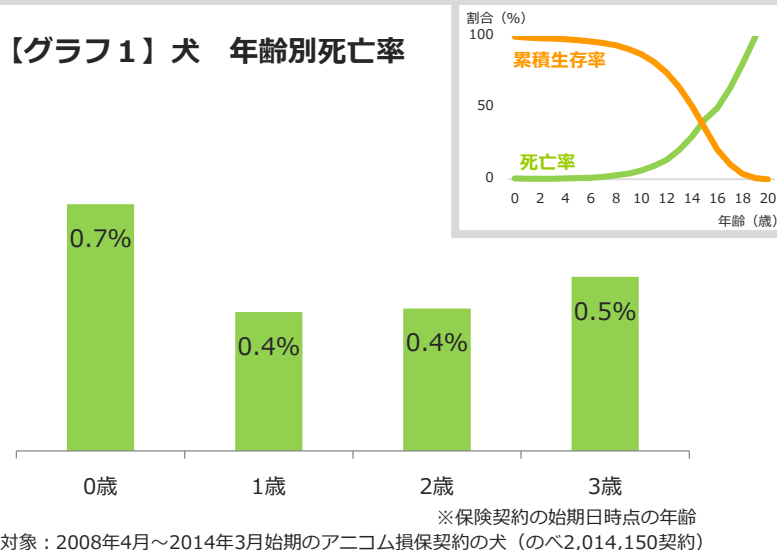


【グラフ1】犬 年齢別死亡率



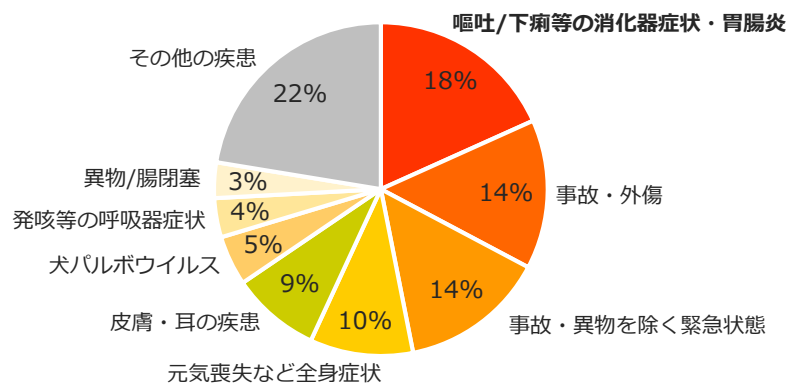
死亡率に表れる0歳の繊細さ

0歳の犬は死亡率が高く【グラフ1】、アニコム損保契約頭数1位であるトイ・プードルでは、死亡前に嘔吐/下痢等の消化器症状・胃腸炎を発症していた子が多数でした。【グラフ2】

気をつけて！ 0歳の消化器症状・胃腸炎

原因は様々で、何かを飲み込んでしまっていた、ごはんを食べておらず低血糖だった、重い感染症にかかっていた、ということもあります。身体が小さいため、嘔吐や下痢に必要な体液が失われ致命的になることもあります。

【グラフ2】トイ・プードル 0歳 最終請求事由



期間：2008年4月～2015年8月
対象：0歳で死亡したアニコム損保契約のトイ・プードル（290契約）

アニコムグループの3つの取り組み

1. ご家庭へお迎え後のサポート

アニコム損保のご契約サービスとして、獣医師によるお電話での健康相談を承っています。

2. ご家庭へお迎えする前の環境整備

新しい環境となるご家庭へ移動する前の体調管理に力を入れています。ペットショップでは温湿度を監視し、遠隔からも環境操作ができるような見守り態勢の開発を検討しています。

3. 良好な腸内環境を保つごはん

栄養吸収や免疫力に重要な腸内細菌バランスが崩れると消化器症状が出ます。犬種・年齢ごとに最適な細菌バランスを保つ食餌を研究していきます。